

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

あおやぎ 陽一郎

よういちろう

衆議院議員3期9年
経験と実績/2児の父親

- 1969年8月29日生まれ(52歳) 家族 妻一男一女
- 衆議院議員3期
- 衆議院議院運営委員会理事
- 党国会対策委員会副委員長 党神奈川県連幹事長
- 元国務大臣政策秘書
- 常盤台小学校・保土ヶ谷中学校卒
- 日本大学高等学校・日本大学法学部卒
- 早稲田大学大学院公共経営研究科修了

国民の声に寄り添う政治を。

- 1 つのまちを守り、国を守る「コロナ対策 災害対策」**
大胆な危機管理投資で安全安心な国へ
専門家とデータ重視の科学的知見に基づく
コロナ対策、災害対策の強化
医療崩壊ゼロを実現(日本版家庭医制度の整備、治療薬の早期開発・緊急使用、治療法の確立、水際対策の徹底)
感染防止と事業者・生活者支援、子どもを守るための大型補正予算の編成
- 2 公平公正な政治・機能する行政**
情報公開の推進
公文書管理の徹底
公正な公務員人事制度の見直し
- 3 格差を是正し厚い中間層を取り戻す経済対策**
行き過ぎた株主資本主義から公益資本主義へ転換
消費を喚起する人への投資・戦略的財政出動
(消費税を時限的に5%以下へ、最低賃金の引き上げ、住宅・教育・医療・子育て・介護などへのシビックサービスを提供する社会的投資の充実)
労働分配率・所得再配分機能の強化
- 4 イノベーションを喚起するデジタル戦略・原発に頼らないエネルギー政策**
健全なネット社会の形成
(ネット差別・誹謗中傷・著作権対策)、高齢世代から若年世代まで誰もが利便性を実感できるデジタル社会の形成
インターネット投票で民主主義をアップデート
社会のデジタル化と再生可能エネルギーへの成長投資
- 5 現実的な外交安全保障・あらゆる外交努力を行う戦略的国際協調主義へ**
健全な日米同盟が基軸。「近くは現実的に、遠くは抑制的に、国際貢献は積極的に」が外交の基本
グリーン・ゾーン事象、宇宙空間・サイバー空間など新たな領域への対処能力向上
高防衛装備品の調達(FMS)の見直し、ソフトウェアの強化



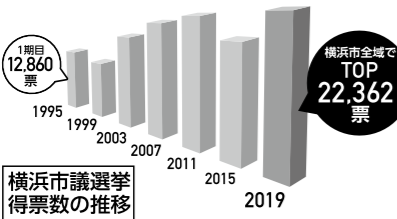
あおやぎ 陽一郎

立憲民主党
よういちろう

あなたの一票をあおやぎ陽一郎に。政治を変えるのは「あなた」です!



駅に立ち、声を聞き続けた26年間 —いよいよ国政へ— 保土ヶ谷区・旭区



- 1 期目 26歳** 1995-1998
「地盤・看板・カバン」なしで横浜市議へ
学生ボランティアと共に初当選
- 2 期目 30歳** 1999-2002
民間の経営感覚を役所へ!
横浜市職員の名刺を公費化して責任感を醸成
- 3 期目 34歳** 2003-2006
横浜市議会定数6人削減
市財政のため、政治家自ら身を切る改革
- 4 期目 38歳** 2007-2010
「ネーミングライツ」導入加速
福祉を支える財源を市の広告募集で賄う
- 5 期目 42歳** 2011-2014
「マニフェスト大賞」にてグランプリ受賞
8本の議員提案条例で、市民生活を向上!
- 6 期目 46歳** 2015-2018
自民党政調会長として各種団体要望に向き合う
歯科口腔保健推進条例の制定で、歯の健康づくり
- 7 期目 50歳** 2019-2021
自民党横浜市議団長として、コロナ対策に邁進
「ファストクター」と横浜市をつなげ、市民の不安軽減へ

古川なおき プロフィール

- 1968年8月31日(野菜の日)生まれ
- 希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- 横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市議員26歳最年少当選(7期・26年間)
- 自民党横浜市議団長、政務調査会長を歴任
- 希望ヶ丘高校同窓会(桜隆会)理事
- 旭区サッカー協会 顧問 / 旭区卓球協会 顧問
旭区スポーツダンス協会 顧問
旭区剣道連盟 顧問 / 旭区食品衛生協会 顧問
- 好きなスポーツ・武道、サッカー、卓球、学生野球観戦、合気道、ゴルフ
- 2018年横浜マラソン完走(5時間8分)

人の「絆」を大切に作る日本へ 市民の命・雇用・地域経済を守り抜く

- 1 感染症対策の徹底**
●自民党市議団長としてダイヤモンドプリンセス号の対応や、ワクチン予約コールセンター拡充等の経験から、市民目線の感染症対策を徹底
●感染症対策と経済・社会活動は車の両輪。必要なら、必要な医療や経済支援を素早く実施
●新たな感染症に備え、病床確保体制の見直し、国と地方の連携体制等、法改正を含めた抜本的措置を講ずる
●自宅療養者へのカフテル療法や治療薬等の迅速な処方、医師派遣体制を整え重症化予防を徹底
- 2 横浜発の政策を全国へ!**
●日産スタジアム「ネーミングライツ」導入を主導した「経営感覚」を国に持ち込む
●横浜が全国に先駆け導入したSDGs、脱炭素の先進事例を全国に発信し、日本の2050年カーボンニュートラルを実現
●小学校建て替えの木造化・木質化を全国に広げ、国産材活用・植林保全の循環で日本の森と「木と紙の文化」を守る
●親の「1日保育士体験」、学校教員の「企業派遣研修」で保護者・教員の相互理解や民間感覚の公教育への反映で、子どもの心に豊かな教育を
- 3 デジタル推進・「こども庁」創設で行政手続き
利便性の向上と、子育て世代の不安に寄りそう**
●デジタル・グリーン(脱炭素・気候変動対策)の推進で新産業を育成し、富を生み出す
●「こども庁」設置推進で、妊娠・出産・子育てに夢や希望を感じ、こどもの虐待防止対策や子育て支援の強化など、子どもが健やかに育つ社会をつくる
●技術立国日本の復活を目指し、基礎研究への大幅な支援により5G、半導体、量子コンピューター、AIの開発を推進
●医療・健康分野でデジタル変革を進め、健康寿命の増進と財政の安定を両立
- 4 つながり、支え合う社会をつくる**
●高齢者・障がい者などが支えられ、ともに暮らす安心の地域社会をつくる。「移動の不便」の解消のためのデマンド・タクシー、AIコミュニティ・バス等への補助を強化
●「患者・利用者第一」の目標で、充実した医療・介護・福祉を構築
●社会的孤立・孤独の中にある「声を上げられない人」や「助けを求めている人」へ、官民一体で息の長い支援を実施
●コロナ禍で希薄になった地域のコミュニティ・伝統・お祭り等を盛り上げる
- 5 国民の生命と財産、国土と主権を守る**
●日本を守る責任と未来を拓く覚悟で、我が国の皇室・伝統・文化を守り抜く
●日米同盟を基軸に、自由・民主主義・基本的人権・法の支配などの基本的価値を共有する国・地域との連携を強化。日米豪印(QUAD)を深化し、息の長い防衛に万全を期す
●サプライチェーンの強靱化、先端技術への海外流出規制強化等を通じて、「経済安全保障」を実現
●立憲の精神に立ち、新たな時代にふさわしい憲法改正を目指す



古川なおき

自民党公認

公明党推薦

SNSで発信中!

4期連続 国会質疑数 第1位

(全衆議院議員465人中)

【人権・動物・子ども・多様性】 ☆三ツ星国会議員 受賞

子どもは国の宝
みんな違ってみんないい
多様性に寛容な社会に
所属する国会議員連盟

子どもは国の宝
みんな違ってみんないい
多様性に寛容な社会に
所属する国会議員連盟

殺処分ゼロ動物愛護連盟 事務局次長
アニマルウェルフェア協議事務局次長
人権外交国会議員連盟副会長
いじめ防止国会議員連盟
日本の領土を守る国会議員連盟
文化芸術振興国会議員連盟

主要活動 実績

- 新型コロナウイルス休業支援金で厚労大臣から雇用主の協力不要を認めさせ改定実現
- 加藤厚労大臣(当時)に雇用調整助成金の重複請求を認めさせる
- 小泉環境大臣(当時)への質疑で職員数大幅増員により動物環境大大きく改善
- 安倍総理(当時)から初の民法822条の懲戒権見直しの答弁により審議
- 犬猫殺処分ゼロ議連の事務局次長として令和元年動物愛護法の改正を実現
- 安倍総理(当時)から家族法見直しの答弁(令和三年)上川法務大臣法制審議会に諮問の歴史的進展に寄与
- 学校でのデジタル教材でイントラネットでの無償化の実現
- 成立済養育費調停は成人年齢の引き下げの影響なく20歳とする広報実現
- 性的犯罪年齢引き上げ、性犯罪不同意による犯罪の成立を法務大臣に要望
- 学校での小動物飼育の禁止訴え
- 動物虐待を認めないアニマルポリスの実現を各委員会でも要望中
- マンガ・アニメ 表現の自由
- 「動物はモノではない」改正を目指す

一日も早い拉致被害者帰国を!
ブルー・リボンはいつも胸に!

(北朝鮮拉致特別委員会委員)

吉村洋文 副代表 維新公認

平成二九年衆議院議員当選
法政大学法学部卒(昭和三年生まれ)
法政大学大学院特任教授(平成二八年)
弁護士
犬猫殺処分ゼロ動物愛護連盟事務局次長
三ツ星国会議員 三度受賞 国会監視NPO
四期連続 国会質疑数 第1位
家族 妻・愛犬 川島町在住

保護犬・保護猫活動に心より感謝します



くしだ誠

維新公認